

# 遊便



広報誌：「遊便」（第24号）  
発行：医療法人 仁風会 八雲病院  
発刊日：2023年4月6日

## コロナと過ごす四度目の春

薬局長 原はるみ

新型コロナウイルスを警戒しながら四度目の春となりました。政府は、五月からコロナウイルスを五類に移行し、緩和を進めており、世の中も動きつつあります。

私が勤務する薬局は、精神科外来部門に属しています。診察は予約制で、患者さんは玄関で職員による検温や健康観察を経て待合室に入られます。当院は高齢者の病棟施設もあるので、院内へ感染を持ち込まないよう、感染委員会を中心に職員が交替で問診などを行っています。その中で県外の方との接触なども伺いますが、患者さんは協力的にお話ししてください。

三年前まで自然に行なっていた人と交流が、コロナ発生から厳しくなりました。また会えると思っていた人との突然のお別れやその葬儀に出席することもままならない経験をされた方もあると思います。明日また出勤できるという保証がないので、仕事を先のばしにしないように心がけています。

私がとても困難を感じているのは、医薬品の「出荷調整」です。一部の会社の不祥事が引き金であらゆる薬の入手が困難なのは、昨年から続いています。当院の患者さんに処方される抗精神薬の

副作用止めのほとんどが出荷調整になりました。またコロナの自宅療養中の患者さんに処方される咳止めなどすぐ必要な医薬品も手に入りにくくなっています。コロナの症状がきつく当院に電話をしてこられる患者さんに、その症状を抑える薬をお出しできないのは心苦しいです。

私が小学生の頃にベトナム戦争がありました。私が遠い国の出来事で自分には関係ないことと思っていました。日本は二度と戦争をしないと聞いていたからです。今はロシアとウクライナの戦争をテレビで観る機会があり、攻撃を受ける地域は定期薬の調達も含めて、どうして過ぎしておられるかと心配しています。このような戦争を軍事力以外の方法で解決し、平和が訪れることを祈っております。

遊便第二十四号もくじ

巻頭言	1
特集 公認心理師の取り組み	2
法人内活動 広報委員会	3
法人アクセス	4

発行元：  
〒690-0033  
松江市大庭町1460-3  
医療法人仁風会 八雲病院  
広報委員会  
電話：0852-23-3456

2017年、心理職初の国家資格として、公認心理師が新設されました。当院では、2名の公認心理師が業務に従事しています。

## 公認心理師とは

「公認心理師(Certified Public Psychologist; CPP、心理師)」という資格をご存じでしょうか。今まで保健医療分野での心理業務は臨床心理技術者(臨床心理士をはじめとする心理支援の現任者)がその中心を担ってきましたが、多職種連携の重要性が増す中で機運も高まり、心理職におけるわが国初めての国家資格として公認心理師が誕生しました。

業務内容は心理支援全般で、基本4業務として①心理アセスメント、②心理面接などの相談支援、③家族や関係者への支援、④こころの健康教育が示されています。

資格の有無や相違で業務内容が変わるわけではありませんが、今後、公認心理師になるには大学+大学院の計6年間を養成カリキュラムで学んだ後に国家試験を合格するというのが

主要なルートとなるため、心理支援のための高い専門性と資質を有した人材として公認心理師に期待が寄せられています。実際、ちょうど第1回の国家試験が実施された平成30年度の診療報酬改定で「臨床心理技術者」という文言がすべて「公認心理師」に置き換わっており、今後の改定で公認心理師の提供できる心理支援がどのように広がっていくか、関心も高まっています。

(I病棟  
公認心理師 小林 雅人)

公認心理師は、心理検査、医療観察チーム参加など、様々な業務に従事しています。精神科デイケアでの業務もその1つです。

## デイケアでの役割

皆さん、こんにちは。精神科デイケア「たんぽぽ」での業務内容についてご紹介します。

精神科デイケアとは、精神科リハビリテーション治療の一種とされ、社会参加、社会復帰、就労などを目的にさまざまなグループ活動を行う通所施設です。心理師のほかにも、医師・看護師・作業療法士・精神保健福祉士等の多職種が携わっています。

「たんぽぽ」では、プログラムが決まっており、午前と午後に分けて活動を行っています。内容は、塗り絵や手芸、音楽鑑賞等の文化活動やペタンクや散歩、卓球等の軽スポーツが

あります。基本的にはプログラムに沿って活動を行いますが、利用者の方からの希望や必要性が生じた場合には職種にかかわらず個別に話を聴きます。

デイケアでは心理師の専門性をいかに発揮するかに固執しないことは多々ありますが、基本的には心理面接で活用している視点や話を聴く姿勢、感覚を使っています。日常場面や面談等から得られた考えや気持ちを利用者の方と一緒に整理し、背景にある個人的な意味や体験についての理解に努めています。さらに、利用者の方同士の関係やスタッフ自身を含めた場の見立てをして、起こっている現象の理解も行っています。これらを含めて短期・長期にわたっての目標や援助の必要性をスタッフ同士で共有し、支援しています。個人の来所の目的や目標はさまざまですが、利用者の方が自らこうありたいと思う姿に近づいていけるようにと考えています。自分自身の関わりを省みつつ、少しでもお役に立てるよう日々努力していきたいと思っています。

最後に、「たんぽぽ」に関心のある方はぜひご相談ください。お待ちしております。

(デイケアたんぽぽ  
公認心理師 板垣 奈津)



### 設立時について

広報委員会は平成22年(2010年)に設立されました。当時、私はまだ入社して日が浅く、委員会に入り、上手く情報を伝えられるのか、内容を分かり易く記載できるのかを試行錯誤しながら広報誌の作成に入りました。

最初に広報誌の名前を決めるため、職員にアンケートを取り、あまり型にはまらない遊び心のある便りが良いとのこと「遊便」に決まりました。現在も広報誌に記載されている「遊便」は先代の故・角南譲院長に依頼し、直筆にて書いていただきました。広報誌は年に2回発行することが決まり、数名の広報委員で定期的に集まり、原稿依頼、誤字や写真の選別、大きさなど細かい部分を確認していました。題材が決まらなかったり、まとめるのに時間がかかったり、発行期限が迫って焦っていたこともありました。

八雲病院では、患者さんと

のコミュニケーション、円滑な治療、及び健康的な生活が送れるよう支援していき、その活動を周辺住民の方々に認知され信頼関係を構築すること、八雲病院がどのような病院でどのような施設が法人内にあるかを分かり易く伝えていき、医療や福祉、介護に役立つ情報など今後も提供していきたいと思います。

(広報委員 奥井 守)

### 現在の委員会について

創刊号以来、広報誌「遊便」は誌面を重ね、今回で第24号になります。現在では、当法人のホームページ上でも誌面を読むことができるようになっています。また、配布範囲を広げ、法人内のみでなく、関係機関や、公民館を通して地域の皆さんのお手元にも届くようになっています。

広報委員会では、新聞記者の方を講師にお招きし、誌面の作り方を学んだり、カメラの得意な職員から写真の構成を習う学習会も開催しました。法人スタッフ向けにも、他機関からの広報誌

を回覧し、地域の関係機関の取り組みについて知ることが出来るようにしています。

今回、広報委員会の紹介ということで、改めて創刊号から、今号までの「遊便」を読み直してみました。創刊当時と比べると、法人の周りも田んぼから、大庭ショッピングタウン街となり、環境も大きく変わりました。また、社会を取り巻く状況も大きく変わったと思います。

3年前より、新型コロナウイルスが流行していますが、広報委員会でも、感染対策のため、様々な工夫を行っています。感染拡大時は委員が集合しての誌面の検討や発送作業を取りやめました。代わりに、各自の意見やアイデアを個別に募り、発送作業も分担で行っています。顔と顔を合わせた意見交換ができないことは残念ですが、反面、紙面での意見交換という形を取ることで、個々の委員の声をより知ることができていると感じています。

誌面の内容についても、委員のアイデアを元に、法人の感染予防対策の取り組み、職員のコロナ禍でのアンケート、家で取り組めるロコモ対策、栄養課おすすめメニュー、各部署の行事など、コロナ色ではなく、読んだ方に参考になったり、楽しんでいただけた内容になったのではないかと思います。

この先も、より良い誌面を作っていくために、広報委員全体で協力していきたいと思います。

(広報委員 笠置 来未)



以前の八雲病院の様子



わたくしたちは心の声を大事にします  
わたくしたちは医療水準の向上に努めます

八雲病院

## 医療法人 仁風会

○八雲病院(外来診療時間午前中のみ受付時間)

平日8:30—12:30/土 8:30—11:30

休診日…日曜日、祝日、お盆、年末年始

松江市大庭町1460-3

電話(0852)23-3456

FAX(0852)23-3495

・デイケアたんぼぼ(精神科デイケア)

月曜日～金曜日 午前9:30—15:30

・デイケアやくも(重度認知症デイケア)

月曜日～金曜日 午前9:00—15:30

・八雲病院 居宅介護支援事業所

○コスモス(自立訓練【生活訓練】事業所)

松江市大庭町1459-1

電話(0852)23-3360

FAX(0852)23-3370

○ビ・フレンドング(地域活動支援センター・相談支援事業所)

松江市大庭町1461-3

電話(0852)23-4111

FAX(0852)23-4112

○雲陽の里(認知症グループホーム・介護保険)

松江市大庭町1459-1

電話(0852)23-3700

FAX(0852)23-3710

### ご意見箱

広報誌「遊便」に対するご意見・ご感想などございましたら、是非下記までお寄せいただくと喜びます。今後とも医療法人仁風会八雲病院、広報誌「遊便」共々よろしく願います。

(医)仁風会 八雲病院  
広報委員会まで

### 表紙写真について

月照寺から撮った松江城の写真です。松江城の近くから見る桜もきれいですが、少し離れたところから見る松江城の桜も格別です。(狩野)

5月の連休明けより、コロナも2類から5類へと移行します。マスク生活も緩和され、家から出る機会も増えて、3年間の自粛生活から解放されると思うと嬉しい限りです。引き続き、医療機関として、必要な感染対策を継続し、皆さんに安心して来院していただけるよう、取り組んでいきたいと思っております。(今岡)

### 編集後記

お知らせ

### ホームページのご案内

当法人の各種サービスについてホームページで紹介しております。スマートフォンにも対応しています。ぜひご覧ください。

アドレス <http://www.yakumohp.net/>

